



議会だより

松崎

No.115

平成29年4月27日



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



新しい園舎になりました！

(松崎幼稚園)

《主な内容》

第1回定例会 (3月7日～3月14日)

平成29年度当初予算	2
平成28年度補正予算	6
町政を問う	9
一般質問に5議員	9

一般会計

予算総額 34億8千万円

幼稚園授業料
保育園保育料

を半額に減額



平成29年第1回定例会が、3月7日から14日までの6日間で開催されました。町当局からは条例制定・一部改正が10件、平成28年度補正予算6件、平成29年度当初予算10件、その他議案5件が提出されました。

平成29年度一般会計予算は、前年度対比2億7700万円、7.4%減の歳入歳出総額34億8千万円となりました。減額は、松崎幼稚園建設工事や光ファイバ網整備が終了したことが主な要因となっています。

予算規模は縮小したものの、防災・観光拠点施設の公衆無線LAN環境整備や光ボックス無償配布事業によるICT（情報通信技術）の利活用、また保育園保育料・幼稚園授業料の半額減額や放課後児童クラブの環境改善のための児童館移設改修事業など子育て支援の充実も図ることとしました。

その他、桜葉の新農薬登録業務委託やなまこ壁等の景観計画、道の駅パーク基本構想などの策定によるソフト面の充実も図り、環境資源の再確認と地域経済の活性化により魅力あるまちづくりと賑わいの創出を目指す内容となっています。



問 個人町民税について、昨年度より500万円程増収を見込んだ根拠は何か。

答 窓口税務課長 町民税の算出にあたっては、平成28年度の課税状況を参考にして見込んだ。それによると所得の伸びが当初の想定より落ちてきたため、前年度比1%増だった結果、昨年度より増収となった。

歳入

町税前年度比 1.2%減

総額 6億4千万円

問 固定資産税の滞納繰越分900万円について、滞納総額と何パーセント分の回収を見込んでいるのか。

答 窓口税務課長 滞納繰越分については、昨年度の収納率約13%で収入を見込んでいる。滞納額は、7千万円くらいを想定している。

滞納繰越分とは

町税など前年度以前に課税されたもので、課税した年度内に完納されず、翌年度以降に繰り越された税額のことを「滞納繰越分」という。

問 地方交付税額は、昨年度より2千万円の増額を見込んでいるが、過去の交付実績を見てもまだ多く見込むことができるのではないか。

答 総務課長 地方交付税については、国の財政が厳しく、どれだけ交付されるのか不透明な部分が多い。当初から前年度の決算額に近い金額で見込むのか、確実に見込める金額にするのかそれぞれ議論はあると思う。

地方交付税は、新しい国勢調査の人口を基に算出されることになるため、その部分ではマイナスとなる傾向にある。ただ特別事情とかプラスになる部分もあるので、近年は見込みより多く交付されている。

今回も前年度と同額で見込む案もあったが、安全率を見込み、また、ここ最近、予算よりプラスで交付されていることなどを考慮して、2千万円の増額とした。

問 今回、保育園保育料と幼稚園授業料が半額となったことはありがたいが、保護者からの声として中学校や高等学校の時の方が部活とかでお金がかかると思うがどうか。

答 教育委員会事務局長 保育料と授業料の半額は、町の自主財源で行うもので、町財政が厳しい中、さらに部活動でいうことになる予算的に難しい。

答 総務課長 児童・生徒に対しては、例えば遠距離通学費補助や部活等の支援として小中学校児童生徒派遣費補助などをすでに行っており、他市町に比べれば町はそれなりの支援はしている。



歳出

観光施設9カ所に公衆無線LANを整備

問 コンビニエンスストア収納事務委託は、事務軽減とならないとおかしい。将来的には、職員の減につながるかと全体的にバランスが取れないと思うがどうか。

答 総務課長 理論的にはそのとおりだが、町の納税事務は2名体制で、他の町から比べれば少ない状況となっている。すぐに職員減といかないが、事務が軽減した分は他のところを兼任してまかなうとか内部業務の見直しを行いながら、それなりの職員数にしていくことは可能かと思う。

コンビニで納付できる町税は

- ・ 町県民税(普通徴収)
 - ・ 固定資産税
 - ・ 軽自動車税
 - ・ 国民健康保険税
- (普通徴収)

問 同報無線のデジタル化実施設計費が計上されているが、現在のアナログ式同報無線がデジタル化された場合、5年前に各家庭へ有償配布したアナログ式防災ラジオは使えなくなると聞いた。その場合の町の対応はどうか。

答 総務課長 電波法の改正により、平成34年11月で各家庭に配布している防災ラジオは使えなくなる。ただ、同報無線がデジタル化されるまでは、いつ起きるかわからない災害に対して今の防災ラジオは必要であると考えている。

同報無線がデジタル化された場合は、おそらく同様な防災ラジオが作られると思うので、現在と同様な形で有償配布をしていきたい。

問 外国人観光客が増えているということで、多言語翻訳システムや公衆無線LAN整備の経費が計上されているが、近隣市町もこういうシステムを導入しているのか。

答 企画観光課長 多言語翻訳システムは、QRコード(1センチ角のマーク)をスマートフォンで当てると、英語、中国語、台湾語の3種類の解説が出るもので、それらを町の観光施設や案内板に設置する。また、町内観光施設9カ所に公衆無線LANの整備も予定しており、無料でインターネットができる環境も整備することになっている。

公衆無線LANは東部地域でやっているが、多言語翻訳システムはまだそれほど多く普及されていない。

問 パソコンを持たない高齢者を対象に、光ボックス300台を無償配布するということだが、講習会をやる必要があるのではないか。また毎月の使用料はどれくらいかかるのか。

答 企画観光課長 光ボックスは、テレビを使って町の防災情報や同報無線の内容とかの情報を得ることが出来る。無償配布するが、毎月使用料（約6千円）と設置費（約8千円）がかかる。設置の際、業者から取り扱い説明があるが、町も希望者取りまとめの際に説明していく。

光ボックスとは

テレビに接続するだけで、簡単にインターネットが楽しめる情報機器のこと。家庭のテレビからインターネットに接続するので、テレビ画面で町行政情報を見ることが出来る。ただし、光回線使用の契約を行う必要がある。

問 町長は、施政方針の中で各種検診の受診率を上げて社会保障費の削減を図ると言っているが、一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金が近年、増えている。受診率が上がることによって社会保障費の削減になっているのか。

答 健康福祉課長 繰出金が増えたのは、所得の低い方への国民健康保険税軽減分の補てんが主なもので、それが増加傾向にある一因となっている。

問 町道の維持管理業務委託は、町道が628路線ある中で、どのように管理をしているのか。

答 産業建設課長 町道については、基本的に地元区長さんをお願いして何かあったら連絡をいただくことになっており、町道の修繕が必要な場合は、できるだけ早く対応するよう、心がけている。



問 学校支援地域本部事業謝礼が計上されているが、この事業の内容は。

答 教育委員会事務局長 この事業は、国県の補助を受けて、地域の方が学校へ入っていただくことで学校と地域との連携を強化しようとするもの。具体的には、有償ボランティアという形で地域にいる4名の方をお願いをして小学校1年生の生活指導をサポートしている。

問 小中学校トイレ改修工事で、和式トイレから洋式トイレへの改修が4基予定されている。現状では洋式トイレの割合が低く、いざとなった時に地域へ解放した場合、和式トイレだと高齢者は困る。トイレ洋式化のスピードをもっと早めることはできないか。

答 教育長 トイレの和式と洋式の割合は50%が妥当かと考えている。避難所として使うことになった場合、基本的に数が足りないので簡易トイレ等を使っていくことになる。ご指摘のとおり、これからはトイレ洋式化の時代で、高齢者のことを考えるとその必要性は認識している。



反対討論

予算自体は、バランスが取れて良い内容だが、町の喫緊の課題は人口減少をいかに止めるかにある。そこに対しての方向性がちゃんと出ていないように思う。それを出していた、だかないと難しい。このままだと気づいた時には何もできない状況になるのではないかと思ひ、反対する。

賛成討論

前年度に比べて、予算規模は減っているが、これは光ファイバ網整備や幼稚園建設など大きな事業が終わったことによるもの。限られた自主財源の中で幼稚園授業料等の半額助成や福祉関係などもがんばっている様子が見られる。これからも子育て支援を厚く、そして人口が増える施策をお願いして賛成する。

国民健康保険会計

予算総額は、12億8171万7千円、前年度比546万7千円、0・4%の減となった。保険給付費は、前年比1・4%増の7億7487万8千円となっている。

問 町長は検診の受診率を上げたいと言っているが、今年度の受診率の目標は41%ぐらいである。これをもう少し上げることができないか。

答 健康福祉課長 最近、「平均寿命」という言葉に対して、「健康寿命」という言葉が使われている。これは、健康で自立して生活できる期間のこととで、いかに健康寿命を延ばすかが町の重要課題となっている。そのためには、定期健診の受診率を上げて病気の早期発見、早期治療に努めていただくことや広報紙に特集記事を掲載し、受診率の向上につなげていきたい。

水道事業会計

いずれにしても自分の健康は自分で守るんだという認識をそれぞれの方が持つことが大切で、今後もそういった意識改革に向けた取り組みを継続していききたいと考えている。

給水収益を前年比99・5%で見込み、事業収益1億5727万4千円、事業費用1億4188万4千円、税抜きの当年度純利益を1248万2千円とした。

主な事業としては、経営戦略・アセットマネジメント策定業務委託や江奈配水管改良工事、江奈地区石綿管改良工事などを予定している。

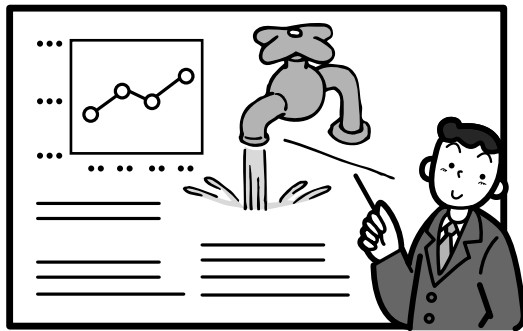
問 経営戦略・アセットマネジメント策定業務は、具体的にどのようなことをやるのか。
答 生活環境課長 国からの通達により、今後10

年以上にわたる水道事業の経営戦略を策定することになった。

内容は、老朽化する水道施設の更新時期や費用を試算し、それをどう賄うか財源を明らかにする投資財政計画を策定する。

問 今後の水道施設更新を試算していくということだが、料金改定への対応はどうか。

答 生活環境課長 当面の設備投資の状況を含め、ある程度の財政見通しは立っており、当分の間は水道料金を改定しなくても大丈夫と見ている。



温泉事業会計

供給戸数は、自家用31戸、営業用31戸。供給収益を前年比99・5%で見込み、事業収益を6858万5千円、事業費用を5618万8千円とし、税抜きの当年度純利益を1147万8千円とした。

問 温泉新規加入の見通しとPRの方法はどのようにしているのか。

答 生活環境課長 新規加入金として、10年間の期間限定30万円を10口分見込んだ。これは平成27年度からスタートして新規加入の促進を図ったが、現在のところ2件の加入しかない。加入世帯は、配湯世帯の2割程しかなく、まだ加入の余地があると見ている。

今後、住宅改修の補助金制度を活用して個人負担金を減らしてもらうなどPRに努めていきたいと考えている。

伊豆まつざき荘会計

平成28年度の状況を踏まえ、宿泊利用者2万3500人（宿泊利用率47%）とし、今後の健全経営のため休前日の割増料金を新たに設定し、事業収益を3億4970万円、事業費用を3億4620万円とし、当年度純利益を261万円とした。

問 宿泊料の休前日割増は、どのくらいの利用者を想定しているのか。

答 企画観光課長 今回、休前日の割増は初めて行うもので、周りの宿泊施設の割増状況を踏まえ、7月から千円の割増を行う。利用者は1日当たり80人程とし、4千人ぐらゐを見込んでいます。



一般会計

問 補正予算(第6号)は、歳入歳出予算から1億2,286万4千円を減額し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ40億1,908万9千円とした。

答 固定資産税の滞納繰越分が670万円と大幅に増額されているが、これは賀茂地方税債権整理回収協議会の機能強化によるものか。

問 窓口税務課長 そのとおりで、賀茂地方税債権整理回収協議会では、差し押さえや預金・生命保険の調査を行ったり、納税者と納税相談を行うなどきめ細かな対応しており、収納効果を奏している。

答 合併処理浄化槽設置事業の補助金が499万円減額されているが、その理由とPRの仕方はどのように行われているのか。

問 生活環境課長 当初、合併処理浄化槽設置の件数を25基予定していたが、年度末の設置見込みを14基に下方修正した結果、11基分を減額した。

答 PRについては、広報紙や町ホームページでも行っているが、し尿処理の清掃業者を通じてチラシを配布するなど周知も行っている。

合併処理浄化槽設置事業の補助金とは

主に居住を目的とした住宅(小規模店舗併用住宅を含む)で、合併処理槽を新設または単独処理浄化槽から合併処理槽に設置替えをする場合、その設置費用に対して次のとおり補助する。

(区分)	(新 設)	(設置替え)
5人槽	332,000円	414,000円
7人槽	414,000円	516,000円
10人槽	548,000円	684,000円

国民健康保険会計

問 補正予算(第2号)は、歳入歳出予算に2702万4千円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ12億8418万8千円とした。

答 特定健診の委託が減額されているが、受診率はどうなっているのか。

問 健康福祉課長 平成28年度の受診率は37.8%だった。受診率は、近年40%を切る数字で推移している。受診率の向上に向けた取り組みにより、生活習慣病の早期発見につなげていきたい。

介護保険会計

問 補正予算(第4号)は、介護保険災害臨時特例補助金の決定などにより、歳入歳出予算に39万6千円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ8億8458万2千円とした。

水道事業会計

問 補正予算(第1号)は、収益的支出において、総配水量の減による動力費等の支出見込み減により、245万円を減額したため、当年度純利益を277万5千円増の824万円とした。

答 資本的支出予算では、伏倉配水管改良舗装復旧工事を翌年度で行うため、440万円減額した。

伊豆まつざき荘会計

問 補正予算(第1号)は、収益的支出において、事業収益を宿泊料や食料料などの見込み減により、1260万円減額するもの。事業費用を1230万円減額したため、当年度純利益を7万円増額して17万5千円とした。

答 宿泊予定人員を当初の見込みより500人増としたにもかかわらず、割引プランなどで収益の

見込みが減となっている。割引プランと集客とのバランスをどのように考えているのか。

問 企画観光課長 宿泊人員が増えたのは、営業活動や割引プランを設定したことによるもの。まず伊豆まつざき荘を知ってもらうことが大切で、その中で料金割引をしている。ただし、無制限に割引をすればよいということではなく、閑散期や平日を対象に割引プランを設定して実施している。効果がない割引プランは見直しをしながら、今後も集客とのバランスを考えてやっていく。



伊豆まつざき荘

条例

◎松崎町交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定

新規創業の促進、雇用創出及び交流人口の拡大による地域活性化を図るために整備した交流拠点施設「ふれあいとーふや。」について、設置や使用許可などの管理に関する規定を定めるもの。本年4月から施行される。

問 個人の建物を公の施設としてもよいのか。

答 企画観光課長 町は公の施設を設置するに当たり、必ずしも所有権を取得するまでは必要とされない。賃借権、使用貸借権等によって施設を町民に利用させる権原を取得した場合においても「公の施設」にすることができ。

個人の方からは、10年間という期間の中で施設をお借りしている。

◎松崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

松崎町内において、放課後児童クラブを実施するにあたり、当該クラブの職員の条件、必要面積、開所時間および開所日数などの設備や運営に必要な基準を定めるもの。

◎松崎町立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例

子育て支援策として、保護者の経済的負担軽減のため、幼稚園の授業料を2分の1とするもの。



ふれあいとーふや。

その他

◎土地及び建物の取得

旧依田邸（大沢）に係る土地、建物を購入するための売買契約を締結するもの。

（賛成6・反対1＝可決）

【土地面積】

7337㎡（11筆）

【建物】

居宅、倉庫他

【取得価格】

3840万円

【相手方】

特定非営利活動法人

伊豆学研究会

特定非営利活動法人

くらしまち継承機構

問 旧依田邸を購入した

あと、伊豆学研究会の利用を、町ではどのように考えているのか。

答 企画観光課長 これ

までも建物の維持管理や伊豆番匠、木工関係などのイベントをしていたらいい。伊豆学研究会の皆さんとの関係は、今後も、より賑わいづくりを

図っていく上で、重要であると認識している。

具体的によどのようなものやかっていくかについては、伊豆学研究会の方とも相談しながらやっていきたい。

反対討論

旧依田邸に対する利用計画がはっきりしていない。今後、町が運営していくにあたって費用対効果が見えてない段階で、ここで契約を締結するのは問題があり、反対する。

賛成討論

旧依田邸は、これからの観光の中心として、いろいろなお客さんを迎える場所になってほしい。赤字になったら困るので、私たちが一生懸命にサポートをする。これからの町の発展のために是非とも必要であり、賛成する。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

委員の山本和彦氏（道部）が平成29年5月13日をもって任期満了となるため、再任する人事案件に同意した。

◎選挙管理委員及び同補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われた。任期は平成29年3月23日から平成33年3月22日までの4年間となる。

【選挙管理委員】

高木 恪（桜田）

鈴木 隆（小杉原）

田口 聡（八木山）

高橋 民吉（石部）

【補充員】

松本 文男（建久寺）

土屋 友衛（雲見）

関 良志雄（中区）

中村 直（松尾）

旧依田邸の購入費を可決 平成29年第1回臨時会

2月16日(木)、第1回臨時会が招集され、当局から提出された次の議案について、慎重な審議を行い、賛成多数で原案のとおり可決された。

◎平成28年度松崎町一般会計補正予算(第5号)

旧依田邸に係る土地、建物、温泉の源泉、邸内の什器一式を購入するために必要な費用4885万円を増額するもの。
購入に必要な財源は、財政調整基金を取り崩して充てる。
(賛成6・反対1＝可決)

問 旧依田邸の購入については、以前、町では受け入れることができないと拒否してきた経過がある。それにもかかわらず、今回、購入するに至った理由は何か。

答 企画観光課長 旧依田邸は、母屋や離れ、蔵などの建物が静岡県指定有形文化財に登録され、北海道十勝開拓の依田勉三翁との関係で非常に緑の深い建物となっている。

また、近くにある道の駅花の三聖苑は重点道の駅に指定され、周辺が内陸フロンティアの推進地域でもあることから、この一帯を拠点整備していく必要がある、旧依田邸を購入することになった。

問 今回の購入経費を判断する基準は何だったのか。

答 企画観光課長 相手方が購入した金額に維持費、手続きに係る経費などを勘案し、また土地家屋償却資産台帳の評価額を参考にして購入価格を決定した。

問 仮に、旧依田邸を購入した場合、町では今後どのような計画を考えているのか。

答 企画観光課長 来年度、道の駅パーク基本構想を策定する予定で、その中でより具体的なものを関係者と協議していく。

今の段階では何をやって、いくら入場料を取つてとかという詳細のものはできていないが、歴史的な建物を保存していくとか、賑わいを生める施設ということで整備していきたい。

問 町が旧依田邸を管理運営するのは無理だろうという声がある。町主導の事業計画を進めていく必要があるのか。

答 総務課長 購入にあたって、その議論は十分に行った。今回は、町の財産ともいえる旧依田邸の維持とか保存は町が行うが、運営とか事業経営については、民間の活力を利用したいと考えている。

来年度、道の駅パーク基本構想と合わせて計画を作るので、その中で施設運営を考えていきたい。



旧依田邸

反対討論

今後の事業提案が何もされていない中で、これからどれだけお金がかかるかわからないような状況である。これをそのまま認めてしまうと後悔するので反対する。

賛成討論

何もやらないで、このまま衰退していく町にするわけにはいかない。町民一人ひとりの協力のもとで、議員も役場職員も町を良くするんだという、熱い気持ちを一つにしてやってもらいたい。今回は、是が非でも町を良くするためにやりたいと思うので、それを信じて賛成する。

第 1 回臨時会・第 1 回定例会の賛否状況一覧

件 名		議 員						
		伴 高 志	渡 辺 文 彦	長 嶋 精 一	藤 井 要	福 本 栄 郎	佐 藤 作 行	土 屋 清 武
臨時会 第 1 回	平成28年度松崎町一般会計補正予算（第5号）について	○	×	○	○	○	○	○
第 1 回定例会	松崎町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○
	松崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○
	松崎町交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町立幼稚園統合に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	松崎町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
	静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ×：反対

第 1 回臨時会・第 1 回定例会の賛否状況一覧

件 名	議 員						
	伴 高 志	渡 辺 文 彦	長 嶋 精 一	藤 井 要	福 本 栄 一 郎	佐 藤 作 行	土 屋 清 武
平成28年度松崎町水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計補正予算（第1号）について	×	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町一般会計予算について	○	×	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町岩地集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町石部集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町雲見集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○
土地及び建物の取得について	○	×	○	○	○	○	○
指定金融機関の指定の変更について	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度（平成27年度繰越）社会資本整備総合交付金水道橋架替工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

町政を問う



今後のごみ処理事業の広域化は
(クリーンピア松崎)



藤井 要 議員

問 高台等に町有地の確保は

答 現時点では非常に困難

問 南海トラフ地震、首都直下型地震など避けて通ることができないような災害が想定されている。そこで、減災と早期復興を図ることから高台等に町有地を確保することはできないか。

答 (町長)

東日本大震災を経験し、津波に対する対応策として高台移転がクローズアップされた。その利点には一目瞭然だが、現実的には急峻な山が多く高台での町用地確保が難しい。

また高台への集落移転となると道路や電気、水道などインフラ整備に巨額な費用と年月がかかる。当町においての高台移転は、現時点で非常に困難であると感じている。

問 那賀川河口堰水門と松崎海岸防潮堤の高さをかさ上げすることについての進捗状況はどうか。

答 (町長)

松崎海岸の津波対策については、これまで6回

の地区協議会、関係地区等への説明会やアンケート調査の実施を通して多くのご意見をいただいた。その結果、7割以上の方は施設整備が必要との結果が出ており、今後は、海岸管理者である県とともにこれらの意見を参考にしていく。

問 今後の空き家対策は

答 国の指針を参考に検討

問 空き家対策が社会的に大きな問題となっていく。これからも空き家の増加が懸念されるが、その対策をどのように考えているのか。

答 (町長)

この問題は、日本全国で発生している問題でもあり、国の空き家等に関する基本的な指針を参考に、対応策を検討したが、税金を投入してどこまでやるかという問題も残るので慎重に対応していく。

問 ごみ処理の広域化は

答 来年度、計画を策定

問 ごみ処理事業の広域化が協議されているが、今後の取り組みはどうか。

答 (町長)

今後、焼却施設の老朽化が進み、維持管理費や改修費の増加が見込まれることから、下田市・南伊豆町とごみ処理事業の広域化を検討している。来年度は、ごみ処理事業の広域化計画を策定する予定で、その中で、民間資金を利用して民間による施設整備と運営なども検討していく。

問 西伊豆斎場建設計画の現状と町内への斎場建設の考えはあるのか。

答 (町長)

現在、建設については白紙の状態である。町内に斎場建設の予定はないが、施設老朽化の問題もあり、今後も西伊豆町と協議を続けていく。

問 山口雲見線の解決策は

答 誠意をもった対応で



長嶋 精一 議員

問 山口雲見線の現状と、問題点および解決方法はどう考えているか。

答 (町長)

山口三浦地区の重要防災道路であり、早期完成を目指して、下田土木事務所や地域の方々と協力し、理解が得られるよう努力していく。

答 (産業建設課長)

町側の調整が不足しているという指摘もあり、今後は十分注意し、誠意をもった対応で努力していくことが解決策だと思っ

いて交渉を進めていく。

問 花畑を全てレンゲ畑に

答 花畑は花の名所

問 昨年の小中高生による「マイドリーム2016」発表会では、花畑は全てレンゲ畑にしたらという意見が出た。そして農林技術研究所の方が、レンゲの効用について新聞に掲載されていたがどうか。

答 (町長)

町では、平成14年まで景観形成を目的に、レンゲ草の種子を配布し、田んぼの所有者に蒔いていただいた。しかし花が咲く前に田んぼにすき込んでしまうなどの理由から種子の配布を中止した。田んぼを使った花畑は、早春を告げる花の名所として欠くことのできないもので、誘客につながっていることから今後も積極的にPR、活用を図っていく。

問 順天堂方面直通バスは

答 粘り強く交渉する

問 順天堂方面への直通バスや買物支援策について、何度も提案しているが、現状はどうか。

答 (町長)

順天堂行バスに関しては話が煮詰まって来ているが、民間業者の利益が絡む話なので、粘り強く交渉していく。買物支援策については、町内バス

業者に対して可能な運行計画などの提案を依頼していきたい。

問 早期解決策として、町の所有バス等を活用し貸切バスという形態で運行させれば法律をクリアできるのではないか。

答 (健康福祉課長)

町が可能な、バス運行事業について、貸切バスの点も含め、陸運事務所と相談していく。



順天堂方面行直通バスの実現は



桜葉料理コンテストの様子



渡辺 文彦 議員

問 高齢者活躍への展望は

答 町再生の大きな推進力

問 平成29年度予算編成にあたり、高齢者の活躍によるまちづくりが展望されているが、この考え方で町の持続性は確保されるか考えるか。

答 (町長)

人口の半数近い高齢者を含む町民の皆さんが健康であれば、いつまでも現役で活躍し、まちづくりに参加いただけることになり、町再生の実現に向けて大きな推進力になる。そのためには、住民の健康度を上げることが大切であり、検診の受診率向上がそれにつながる。今後も受診率向上に向けた啓発活動を続けていく。

問 高齢者の活躍する町づくりは、町の総合戦略、人口ビジョンの中によどのように反映されているか。

答 (町長)

総合戦略では、生涯現役のライフスタイルの実現を目指すために、健康機能向上の取り組みや社会参加の機会創出、松崎

版(CRC)(生涯活躍のまち)の推進を図る事業を上げている。

平成29年度では、松崎版クアオルト整備の取り組みとして月いちノルディックウォーク事業や富士ゼロックス(株)などと連携したシニアインターンシップの取り組みを進めていく。

問 委員の活動成果は

答 農地集約の取り組みも

問 農地利用最適化推進委員が設置されて一年になるが、これまでの活動成果と課題は何か。

答 (町長)

委員のご尽力により、耕作放棄地になる農地を他の方に斡旋したり、耕作放棄地が増加した地区の農地を集約化する取り組みも始めている。

今後の課題としては、新たな担い手に土地を提供できる体制づくりや、移住者が住宅として利用

できる空き家の確保も必要かと思われる。

問 桜葉振興予算の活用は

答 3つの分野で取り組み

問 桜葉振興について1000万円の予算の活用方法とその成果は。

答 (町長)

本事業では、生産・流通・販売の3つの分野で事業に取り組んだ。

生産分野では、オオシマザクラの栽培技術の向上を図るための研修、残留農薬等検査を実施した。流通分野では、ポスターや多言語リーフレットの作成、さらに販売分野では、桜葉料理コンテストや桜葉スイーツの試作品事業、企業と連携した化粧品開発に向けた協議を行っている。

問 木造住宅耐震補助の拡充は

答 4月受付分から拡充



佐藤 作行 議員

問 木造住宅耐震工事の補助金拡充について、県内35市町のうち、31市町が、補助額を拡充したが、松崎町の対応は。

答 (町長)

補強工事前に実施する耐震診断の申請がない状況から、本年度中は耐震補強工事の実施が見込まれなかったため、当町においては補助の拡充は4月からの開始とした。一般世帯90万円、高齢者世帯110万円と、県

女がともに役割を果たす環境作り。③男女がともに、能力を発揮できる就業環境づくり等に関する取り組みを内外に示すもの。

当町においては、現時点では、宣言という形では考えていないが、職場環境の改善には、引き続き努めていく。

問 独居老人・高齢者対策は

答 状況に応じて訪問

問 独居老人や高齢者世帯の安全、健康対策はできているのか、見廻りの状況は

答 (町長)

高齢者の見守りは、31名の民生委員が中心となり活動している。各民生委員は、独居を始めとした見廻りが必要な方の情報が記載された福祉票という台帳を持っており、これに基づき、支援が必要な方への定期的な訪問などを行っている。

又、見廻りに関しては、新聞販売店、郵便事業者生活協同組合などと高齢者見守りに関する協定を締結し、異変に気付いた時には連絡をもらうことになっている。

問 地域包括ケアシステムに対する方向性と、考え方は

答 (町長)

地域包括ケアシステムは、高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよ

うに、医療、介護、生活支援などが一体的に提供される体制を作っていくというもの。現在、賀茂圏域1市5町では、県の支援のもと、広域化で対応可能なものについては連携を図りながら、地域での生活を支える仕組みづくりの構築に向け、取り組んでいる。



耐震補強工事の様子



防波堤モデル構造物（松崎海岸）



伴 高志 議員

問 住宅改修補助金の条件緩和

答 今のところ変える予定ない

問 住宅改修補助金について、現在の利用条件は、「町内に1年以上住民登録をされている方」であるが、この条件を、「町内に勤務する方」に緩和することはできないか。

答（町長）

住宅改修事業補助金は、住宅の改修工事を行うものが、町内施工業者を利用して住宅の安全性、耐久性及び居住性の向上に関する改修工事を実施するにあたり、費用の一部を補助する制度として平成23年度から行っているもの。

補助の対象者としては、松崎町に1年以上住所を有する者、所有者並びに同一世帯に属する者全員が町税等（町民税、固定資産税、国民健康保険税、水道料など）を滞納していないことなどが条件となっており、当然のことながら、この補助金を町内に居住しない、税負担のない人に対して行うことは、住民サービスとは

言えないので、町内で勤務する町外の方は、居住のあるそれぞれの市町においてさまざまなサービスを受けていることから、居住する市町での制度を活用していただきたい。

問 防潮堤高さ11m決定か

答 水門等必要性理解求む

問 津波対策松崎地区協議会で、防潮堤の高さを11mにする案が半数を占めたが、今後、町ではどのように対策を進めていくのか。

答（町長）

まず、防潮堤の高さ11m案が半数を占めたというのは、昨年の秋に松崎海岸に設置した防波堤モデル構造物を見ていただいた時のアンケート結果のこと。

第6回の松崎地区協議会においては防潮堤の高さについては決定には至っていないが、水門を含む施設整備の必要性につい

ては多くの方にご理解をいただいている。

今後の対応としては海岸管理者である静岡県とともに、アンケート結果や協議会の意見を参考に基本方針を検討していく予定で、地区協議会においては引き続き避難対策やまちづくりと一体となった津波対策の検討をお願いしていくことになる。

津波対策

地区協議会とは

町は、津波対策と避難計画策定を同時並行で検討し、一体的なものとして考えている。

これらの取組を実現するために、県と町が地域の特性（自然環境・景観・産業等）を踏まえ、地域住民との共同により対策を検討していくもので、松崎地区と三浦地区に設置されている。

次の定例会は、
6月6日(火)からの予定です。

議会のうごき

1月

- 12日 広報編集委員会
- 19日 広報編集委員会
- 26日 議会だより114号発行
賀茂郡町議会議長会臨時総会・議長会議（松崎町）
- 27日 静岡県地方議会議長連絡協議会
政策研修会（静岡市）

2月

- 1日 松崎小6年生議会議事堂見学
- 7日 議会全員協議会
- 15日 静岡県町村議会議長会総会・議長会議・現地視察（小山町）
- 16日 第1回臨時会・議会全員協議会
- 22日 下田地区消防組合議会定例会
下田メディカルセンター組合議会定例会

3月

- 1日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 3日 議員会勉強会
- 7日～14日 第1回定例会
- 27日 西豆衛生プラント組合議会

福本栄一郎	長嶋精一	伴高志	編集委員	土屋清武	編集委員長	議長 稲葉昭宏	発行責任者
佐藤作行	藤井要	渡辺文彦					

松崎小学校6年生の皆さんが 議会議事堂を見学されました！

2月1日(水)、松崎小学校6年生46人が社会科学習の一環で、3階の議会議事堂の見学に訪れました。

皆さんは、事務局職員から議場の説明や議会の役割などについて説明を受け、熱心にメモをとり、元気に手を挙げて質問をしていました。



議場で説明を受ける6年生の皆さん

議会事務局人事異動（4月1日付け）

議会事務局長
鈴木清文（総務課長補佐兼総務係長）
健康福祉課長兼健康対策室長
新田徳彦（議会事務局長）

※（ ）内は旧任

海鳴り

今議会は、29年度の予算審議で1年間の行政活動の内容を決定するわけである。しかし、この内容の町の予算編成は、断的に当局が行うのが通例である。当然、予算作成の権限は町のトップにあるが、その過程については議会に公開はされない。もちろん議会は、一部修正もできるし、補正予算への提言もできる。将来に向けて、地方の自治体の財政はますます厳しくなるばかりである。少ない財源を有効に配分するためには、住民代表である議会の一般質問で内容をも配慮してもらいたいものである。

当局側にとっては、政策的な予算にどうしても重点がいくが、住民の生活予算も大切である。これから予算編成については、議会も積極的に注視していくべきと思う。

（議長）